

輝き

近江草津徳洲会病院広報誌 [かがやき]



2017
VOL.29

近江草津徳洲会病院ロゴデザイン

県の木「もみじ」、郷土の花「しゃくなげ」、県の鳥「かいつぶり」、「地域の人々」、「琵琶湖の水」、そして「徳洲会のロゴ」をあしらい、自然豊かな滋賀県を、木をモチーフにあらわしました。「徳洲会のロゴ」の鳥が一羽その木にとまることで、滋賀県における地域医療の1ピースとして存在したいことを表現しています。



無料

ご自由にお持ち
帰りください

特集
(03-04P)

離島訪問

副院長 佐々木 英幸

離島で一生懸命診療にあたる徳洲会グループ
また何かお役に立てることがあれば訪問したい

01 - 新年度を迎えるにあたり/病院長 青嶋 實

05 - 最新の乳腺撮影装置(マンモグラフィー)を導入しました

07 - ハンドセラピー/リハビリテーション科

09 - 毎月第2火曜日は糖尿病教室開催



医療法人 徳洲会

近江草津徳洲会病院

新年度を 迎えるにあたり



皆様のご支援、ご協力に
感謝申し上げます。

平成 29 年 4 月 新たな年度を迎えるにあたり、ご挨拶申し上げます。近江草津徳洲会病院長に就任させていただき、早や 2 年が過ぎました。ひとえに地域の皆様おひとり、おひとりのご支援、ご協力があったからこそ、ここまで乗り越えて来れたと感じております。改めて今までの皆様のご支援、ご協力に感謝申し上げます。

昨今全国レベルで各地域の医療の再構築が叫ばれており、これから 5 年、10 年にわたって迎える高齢化社会に備えて当院も地域のニーズを踏まえ病床機能を改編し、地域の各医療機関との新たな連携を構築していかなければなりません。

また治療分野では、整形領域において、関節や脊椎疾患のより高度な医療、呼吸循環領域においてはより迅速・的確な治療等、あらゆる疾患においてより多くの患者様が容易に高度な治療を受けられるようにしていきたいと思っております。今後も地域の皆様に信頼され続ける病院として、スタッフ、設備の充実を図って参ります。



徳洲会の理念『生命だけは平等だ』

「いつでも どこでも だれでもが最善の医療を受けられる社会を目指して」
をもとに日々の医療を実践していきたいと考えておりますので、
今年度もよろしくお願いいたします。

病院長 青嶋 實



離島訪問

近江草津徳洲会病院 整形外科
副院長 佐々木 英幸



離島で一生懸命診療にあたる徳洲会グループ また何かお役に立てることがあれば訪問したい

平成28年10月、徳洲会グループの離島応援で、宮古島徳洲会病院に行く機会がありました。徳洲会グループの病院は全国に約70施設あり、徳之島、奄美大島、喜界島、沖の永良部島、与論島、石垣島などの離島にも病院があります。私は、近江草津徳洲会病院に赴任してから12年になるので、リフレッシュをかねて、行きたいところに行っていいと上司から話があり、宮古島に行かせてもらうことにしました。宮古島を選んだのは、これまでに訪れたことがあり、海の美しさが印象的だったのと、3人の常勤ドクターのうちの一人が整形外科医で、手術もしておられるので、何か役に立つことがあればと考えたからです。

金曜日、午前の診療を終えてから、伊丹空港に向かいました。関西からの直行便はないので、まず那覇空港に向かい、宮古行きの飛行機に乗り換えます。那覇までが2時間、那覇から宮古までが1時間なので、飛行機に乗ってしまうと意外と早いのです。空港に着くと、宮古島徳洲会病院の新里事務長が迎えに来てくださっており、沖縄料理の店に連れて行ってもらいました。私は、近江草津徳洲会病院に赴任する前は、琉球大学の整形外科に所属していたので、沖縄料理には慣れていて、ゴーヤ、ミミガー、豚足、海ブドウ、泡盛、ソーキソバは好物なのです。

食事をしながら翌日の打ち合わせをすませると、宿泊先のホテルに案内されました。

翌朝、病院に向かいました。ホテルから病院が見えており、歩いて数分で到着しました。玄関を入るとすぐ右手に発熱外来が設けられており、インフルエンザの患者さんと一般の患者さんが接触しないように配慮されていました。そのまま進んでいくと、待合室には、きれいな海水魚が入った水槽がありました。本州では生息していないカクレマノミが泳いでいました。南の島らしくていいなあと思いました。2階の医局に案内されると増成院長らが、朝の連絡会をしておられました。常勤のドクターは3人と聞いていたのですが、意外とたくさんの若手のドクターがいて、おやっと思いました。聞くと、全国から地域医療の研修で、前期、後期の研修医が6名ほど来ているとのこと、驚きました。手術はなかったので、外来診療をさせていただきました。高齢の患者さんが多い印象でしたが、ほとんどの方は現役で畑仕事に従事しているとのことでした。入院病棟に、関節炎の患者さんがおられて、研修医の先生と一緒に、関節穿刺をしたり、鑑別診断を考えたりしました。普段、研修医の先生と一緒に仕事をする機会がありませんので、久しぶりで新鮮な気分でした。



日曜日は、1日自由行動をしてよいとのことだったので、整形外科の急患が来たらコールしてくださいと言いおいて、海に向かいました。これまでに何度か宮古島で泳いだことはあったのですが、今回は初めてダイビングをしました。宮古島は平たんな島ですが、海に潜るとダイナミックな地形が特徴です。陸地の池まで、海から洞窟でつながっているところや、40mを超す断崖のようなドロップオフのポイント、水底から見上げると、岩の穴がハート形に見えるポイントなどがありました。透明度がいいので、海底までスカッと見えていて、まるで空を飛んでいるような気分でした。普段、本州の海では見られない魚をたくさん見てきました。

最終の月曜日は、伊良部島の診療所に行きました。この診療所も宮古島徳洲会病院の先生方が交代で診療にあたっているとのことでした。伊良部島は、宮古島の隣にある離島で5千人くらいの方が住んでいます。以前は、フェリーでしか行き来できなかったのですが、昨年、伊良部大橋が完成してからは、車で行き来することが可能になりました。全長3kmほどある立派な橋で、無料の橋としては、日本一長い橋だそうです。

橋の中ほどで、車を止めて、海を眺めると、ウミガメが泳いでいるのが見えました。エメラルドグリーンで、とても気持ちよさそうでした。僕も一緒に泳ぎたい気分でしたが、気持ちを切り替えて、診療所に向かいました。こちらの島も、ほとんどの方が、一次産業に従事されており、高齢の患者さんが多かったです。普段は、整形外科の診療日は10人くらいの患者さんが来られ、遅くまで診療されているとのこと、是非また応援に来てくださいと言われました。伊良部島からの帰り道、新里事務長が島内の観光名所を案内してくださいました。どこも美しいところばかりで、心が和みました。応援に来たのか、癒されに来たのか分からないような訪問でしたが、徳洲会グループの仲間が、離島で一生懸命診療しておられる様子を見て、励みになりました。また何かお役に立てることがあれば、訪問したいなと思いました。

最新の乳腺撮影装置 (マンモグラフィー)を導入しました より低被ばく・高画質な画像検査へ!!

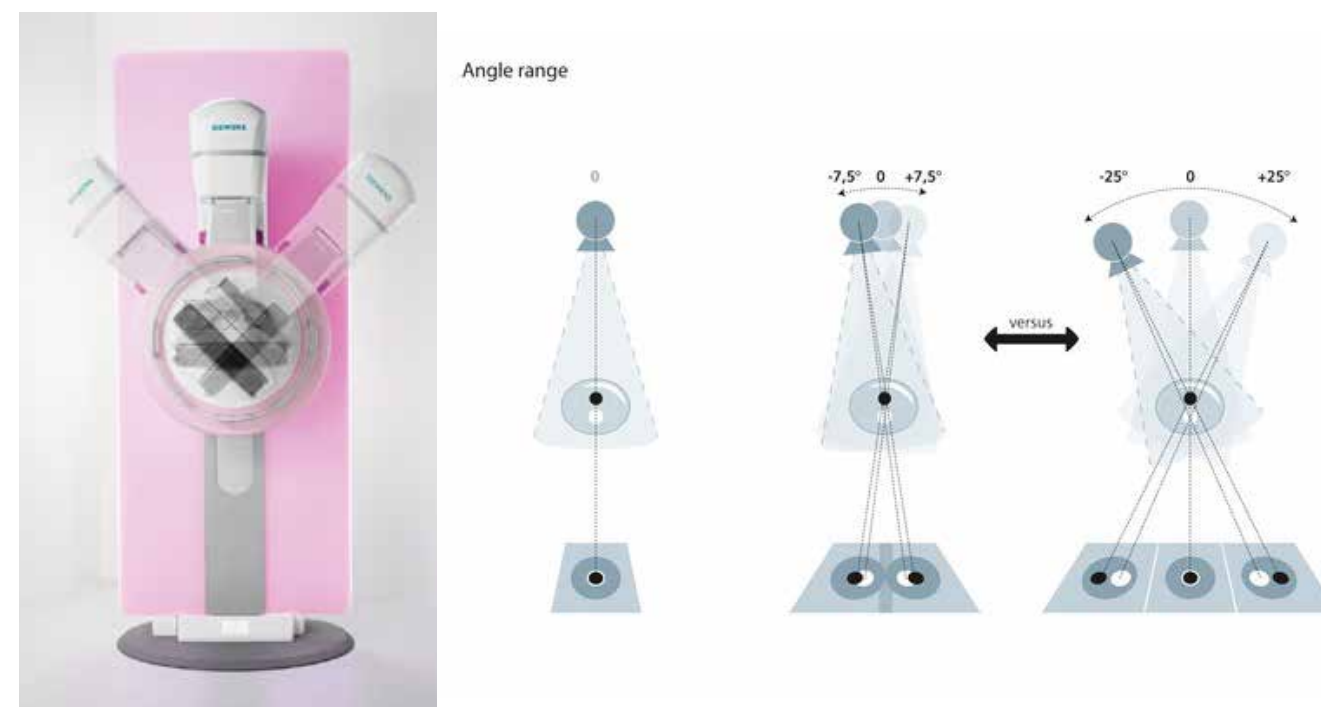


【乳腺撮影】

マンモグラフィーは乳がんを診断する、乳腺専用のレントゲン撮影です。乳がん検診や人間ドックなどで利用して頂いていますが、最新の装置やシステムを組み合わせる事により、低被ばく（通常撮影の最大30%低減）高画質（トモシンセシス機能搭載）な検査が出来る様になりました。

「トモシンセシス」とは

当院装置には「トモシンセシス」という機能が装備されています。トモシンセシスは1回の断層撮影で任意の高さの断面を再構成する撮影技術で、日本人に多いとされている高密度乳腺に有効で、高い診断能力を実現します。



私たち女性技師が
撮影しています



お問い合わせ：近江草津徳洲会病院 放射線科

📞077-567-3610 (病院代表)

ハンドセラピー

ハンドセラピーと聞きどのようなものを想像しますか？手のお手入れ、アロマなどを使用したハンドマッサージなど様々なものを連想されると思います。今回は手の手術後・ケガ後に作業療法士が行うリハビリとしてのハンドセラピーについてと、当院でのハンドセラピーの取り組みをご紹介します。

作業療法士とは

リハビリには作業療法以外に理学療法、言語聴覚療法があります。作業療法では主に日常生活に関するリハビリを行っております。セルフケアと言われる食事、更衣、入浴、トイレ、整容動作があり、それに加え家事、仕事、学業、趣味など個々により様々な日常・人生があります。そのような日常生活動作がケガや病気で困難になられた方に対し身体機能訓練、日常生活訓練、必要に応じて家屋改修などのサポートを行い少しでもそれぞれの人がそれぞれの人生に生きがいを感じて頂けるようにサポートさせて頂くのが作業療法士です。

ハンドセラピーとは

手は道具を使い日常生活を送る為に不可欠な器官です。リハビリの中でも主に日常生活活動に対してリハビリを行っている作業療法士が当院ではハンドセラピーを行っています。日常生活と言っても十人十色であり、個々の日常があります。家事、多種多様な仕事、スポーツ、趣味活動などがあります。どの日常にしても手を使う事がほとんどであり、手のケガ・病気に対し整形外科で手術やその他の処置をされ、整形外科医によってリハビリが必要と判断された方に対してリハビリをさせて頂いております。

主な取り組みとしては作業療法士の手により筋力訓練を行う、関節を動かすなどの徒手療法と、関節の矯正や手術後早期から運動を開始できるように使用する装具をスプリントと言いますが、そのような装具を使用したスプリント療法を行っています。スプリントは患者様の手術後・ケガ後の手の状態に合わせて作製する必要がある為、問題があれば直ちに修正できるように院内で作業療法士により作製しております。リハビリの開始時期は場合にも異なりますが、多くの場合手術後1日目から介入致します。早期より開始することで円滑な機能改善の向上を目指し、早期の在宅復帰、社会復帰、復学等を行って頂けるようにサポートさせて頂きます。また、専門性が必要なセラピーとなる為、積極的に学会・研修会への参加、発表や研修会の講師なども行い日々研鑽するよう努力しております。

当院でのハンドセラピー適応疾患

- | | | |
|--------------|-----------|----------------------|
| ・マレット指 | ・肘頭骨折 | ・肩腱板断裂 |
| ・ばね指 | ・肘部管症候群 | ・スポーツ外傷 |
| ・手指骨折 | ・上腕骨顆上骨折 | ・上腕骨骨折 |
| ・手指屈筋腱・伸筋腱断裂 | ・内、外側靱帯損傷 | ・肩関節周囲炎
(五十肩・四十肩) |
| ・舟状骨骨折 | | ・鎖骨骨折 |
| ・母指 CM 関節症 | | |
| ・デュプイトラン拘縮 | | |
| ・橈骨遠位端骨折 | | |
| ・TFCC 損傷 | | |
| ・手根管症候群 | | |
| ・前腕骨折 | | |
| ・各種神経損傷 | | |



入院患者様のみならず外来患者様への治療も行わせて頂いております。まずは整形外科を受診して頂き医師の判断・指示によりリハビリを開始させて頂きます。

手のリハビリについてご不明な点、ご質問等ございましたら気軽に医師・作業療法士にご相談下さい。

毎月第2水曜日は 糖尿病教室を開催



●こんにちは、管理栄養士の木曾田です

今日は栄養科で行っている教室について紹介させていただきます。当院では地域の方々の健康増進を目的に毎月第2水曜日、糖尿病教室を開いています。事前予約は不要で、受講料は基本無料です。時間は1時間半くらいになります。2回が1クールで、どの回から参加していただいても大丈夫な内容になっています。講座内容は薬物療法、検査、食事療法、運動療法です。教室の担当は其々薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、理学療法士が資料を基に説明を行っています。



糖尿病教室の他に毎月1回、生活習慣病教室も開いています。この教室は4回が1クールで、4回目は仕上げの食事会になっています。生活習慣病全般の内容になっていますので、糖尿病教室とは少し違います。講座内容は生活習慣病の基本的な知識、薬剤、検査データの見方、運動療法、日常生活の工夫、食事に関して何を食えばよいか、献立と調理のポイントなどになっています。この教室に参加していただくには、当院で受診されていて生活習慣病の病名をお持ちの方限定となっています。もし参加を希望されたい方は、主治医に受講したいと言っておく必要があります。興味のある方は、一度参加してみてください。



教室の4回目で、また毎月第2土曜日に開いている食事会について紹介させていただきます。食事会は管理栄養士が担当します。毎月担当する管理栄養士が生活習慣病に関係あるテーマを考え、企画します。参加していただいている方は、ランチをする感覚で来ていただいています。年々参加者が増えご夫婦での参加も多くなってきました。実際に食べるにより、量や味付けなどを参考にいただけます。食事会の案内は、外来待合などに掲示しています。興味のある方は、一度栄養科に問い合わせ下さい。院外でも月2回程度地域で、栄養士の視点から健康に役立つ医療講演も行っておりますので、ぜひ聞きに来て下さい。



さて栄養に関する医療の大きな学会に、日本静脈経腸栄養学会があります。この学会は、年に一度栄養に関する学術集会が開かれて1万人以上の医療関係者が全国から参加する非常に大きな学会です。今回私たちは、今年2月に岡山で開かれた第32回日本静脈経腸栄養学会学術集会で発表しました。栄養科の発表はこれで3年連続となります。大きな手術を受けた超高齢者透析患者さんが順調に回復したことに対して、栄養科が貢献し成果が得られたことを病院と栄養科を代表して私が発表してきました。今回の経験を生かし、今後も継続して、患者さまの治療に役立てられるよう、医師、看護師とともに栄養科職員一同で取り組んでいきたいと思っています。



■各種交通機関をご利用の場合

- JR東海道本線(琵琶湖線)「南草津」駅 東口より (新快速電車停車)

◇徒歩にて約15分

- ◇近江鉄道バス(飛島線・南草津立命線)にて

「南草津駅前バス停」より乗車、「東矢倉南バス停」で下車 徒歩1分

- ◇帝産バス

(52系統 草津車庫行・72系統 若草・青山グリーンヒル行 かがやき通り経由)にて

「南草津駅前バス停」より乗車、「東矢倉南バス停」で下車 徒歩1分

- ◇タクシーにて約5分

■お車でお越しの場合

- [栗東方面]京滋バイパス「東矢倉南」交差点右折スグ

- 名神高速道路「草津田上I.C」下車、若草交差点左折、南草津駅方面へ1500m



Oumikusatsu
Tokushukai Hospital

医療法人 徳洲会

近江草津徳洲会病院

〒525-0054 滋賀県草津市東矢倉 3 丁目 34-52

TEL : 077-567-3610 / FAX : 077-567-3650

<http://www.oumi-kusatsu-hp.jp>